

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	光環境シミュレーション小委員会	主 査 名：鈴木広隆 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：佐藤 仁人
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、測光量シミュレーションの計算精度向上に加え、その他の光や視覚に関わる環境にもシミュレーションの範囲を広げ、設計の場で光環境シミュレーションを普及させることを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初年度：昼光シミュレーション WG は、天空輝度モデルの検討、計算精度の検討、ニーズの把握を行い、輝度・可視性シミュレーション WG は、様々なシミュレーションの可能性の検討を行う。 ●2 年度：昼光シミュレーション WG を中心として、昼光シミュレーションを一般に普及させるための実習的な公開研究会を行う。 ●3 年度：昼光シミュレーション WG は公開研究会の結果を整理し、今後必要とされるシステムの要件をまとめる。輝度・可視性シミュレーション WG は、光・視覚が関係する様々なシミュレーション対象のマトリクス化を行う。 ●4 年度：輝度・可視性シミュレーション WG を中心として、光・視覚が関係する様々なシミュレーションを紹介する公開研究会を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有 (公募したが応募はなし)</p> <p>一ノ瀬雅之(首都大学東京)、岩田朋子(大阪市立大学)、上谷芳昭(京都大学)、大井尚行(九州大学)、鈴木広隆(大阪市立大学)、菅野普(旭化成ホームズ株)、中村芳樹(東京工業大学)、原直也(関西大学)、細淵勇人(秋田県立大学)、三木保弘(国土交通省)、吉澤望(東京理科大学)、渡邊健一(日建設計)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>昼光シミュレーション WG (天空輝度モデルと計算精度の検討、ニーズ把握) 輝度・可視性シミュレーション WG (様々なシミュレーションの可能性の検討)</p>	
2011 年度予算	62,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://graphics.arch.eng.osaka-cu.ac.jp/daylight/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本年度は、2012 年度に実施する昼光シミュレーションの公開研究会の準備を行う位置付けであり、委員同士の情報交換やメールでのやりとりでその目的は達成されていると考えられるが、主査が在外研究員となり委員会の予定期間に日本不在となり、委員会を開催して各委員のシミュレーションの取り組みについて直接情報交換を行うことができなかった。よって、達成度は 70%である。
委員会活動の問題点 ・課題	主査が在外研究員となったことにより、委員会を開催することができなかった(通信審議のみ実施)。これは、突然のスケジュール変更によるものであったが、主査不在の場合も考慮の上で活動体制を整えておくべきであり、今後の課題としたい。